

授業科目名(英文名) / Course title	富山学 / Basic study of Toyama region				
担当教員(所属) / Instructor	奥 敬一(芸術文化学部)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 総合科目系				
COC + 科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2021年度 / Academic Year 前期 / Spring 他	対象所属 / Eligible Faculty	教養教育科目a		
時間割コード / Registration Code	106440	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 ,3 年 ,4年	単位数 / Credits	2単位
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00041-2500				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	奥 敬一(hoku@tad.u-toyama.ac.jp)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	奥 敬一(事前にメールで確認をとることが望ましいが、研究室(C429)に在室していれば随時質問・相談可。)				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
<p>原則として対面授業のみで実施する。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための富山大学の活動指針のレベルが上がった場合、本科目は「遠隔授業」により実施する。 フィールドワークに関してはその時の状況により回数削減、あるいは代替の遠隔授業などに切り替えることがある。 遠隔授業の実施方法等については、この科目の Moodle により確認すること。</p>					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>「富山県」という地域が、どのような自然的・文化社会的基盤の上に成り立ってきたのか、その過去・現在・未来について理解を深める。またそのことを通して富山県が世界や日本の中でどのような独自性・固有性を打ち立てているのかを理解し、地域の課題解決や活性化に向けて学生自らが考え、行動する意識を持つようになることを狙いとする。</p> <p>本講義は「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)：富山全域の連携が生み出す地方創生」におけるカリキュラム改革の一部として開講された経緯がある。地域志向科目群のひとつとして、未来の地域リーダー育成に資することを目的としている。</p> <p>各分野での実務経験を有する学外者を講師(ゲストスピーカー)として招き、その実務経験を踏まえ、より実践的な講義を提供する。</p>					
達成目標 / Course Goals					
<ul style="list-style-type: none"> 富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 フィールドワークや地域のひとびとの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。 					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					

1. ガイダンス (1~3回 9月7日)	講義全体の進め方、成績評価等についての解説 世界の中の富山、日本の中の富山：富山県の基礎情報 現地見学の注意事項
2. 富山の自然基盤(水循環)	立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ
3. 富山の自然基盤(植生)	過去から現在にわたる富山の自然植生の变化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する
4~7. 富山の生活文化 (9月14日)	庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク(世界遺産を維持するための取り組みと茅刈り体験)~砺波平野散村景観の文化的価値について 現地講師：五箇山自然文化研究会会員
8. 富山の自然基盤(立山連峰) (8~11回 9月21日)	立山山系の地形的な特徴とその社会との関わりについて解説する
9. 富山の自然の保全	立山の自然の保全の実態や、自然環境と両立する観光のあり方、さらに自然保護に関係する仕事について学ぶ 外部講師：環境省立山管理官事務所国立公園管理官
10. 富山の自然基盤(生物多様性)	富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する
11. 富山の自然基盤(総括)	富山の自然基盤についてのグループディスカッションを通して、富山の特徴を生かしたライフスタイルとは何かを検討する。
12. 富山の歴史と文化(生活文化の景観)(12~15回 9月28日)	富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する
13. 富山の歴史と文化(山の文化と信仰)	立山山系と白山山系の両霊山を擁する富山には、信仰を背景とした多様で奥深い山村生活の文化が根付いている。富山の基層に流れる山の文化について解説する。
14. 富山の歴史と文化(海の文化とネットワーク)	日本海に面した富山は海を通して他地域ともつながりあってきた。そのネットワークは国内はもちろん海外にもつながっている。富山の生活や産業を支えてきた外の世界とのネットワークについて解説する。
15. 総括	フィールドワークにもとづくディスカッションと「富山学」のまとめ
授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class	
事前学修：富山県内の各自治体の地理的、社会的な特徴と現在抱える問題点等について学修する。(週2時間程度)	
事後学修：富山の自然、歴史文化に関する独自性・固有性についての理解を深める資料等を提示するので、フィールドワークで得た体験をもとに富山県の将来像についてアイデアをまとめる。(週2時間程度)	
キーワード/Keywords	富山県、自然基盤、生活文化、防災、住環境、立山連峰、庄川流域、実務経験教員科目、SDGs科目
履修上の注意/Notices	野外活動を伴うので、そのための適切な服装などを準備する必要がある。詳細は1回目のガイダンスにて説明するが、運動や作業をしても蒸れないレインウェアや、滑りにくい靴、作業用の手袋等は必須であり、各自で用意してもらうので注意すること。
教科書・参考書等/Textbooks	講義に関連する文献、より深い理解のために推奨する文献については、適宜紹介する。
成績評価の方法/Evaluation	授業や実地見学、グループディスカッションへの参加態度(20%：発言の積極性、議論のまとめ方などの状況进行评估する)、講義中に課す作業シート(20%：講義内容の理解度および応用的な考察力を評価する)、および講義の節目や実地見学等の際に課すレポートの内容(60%：富山の特徴に関する理解度および自己学習による内容補完の程度、現状を踏まえた将来像の検討内容を評価する)によって評価する。
関連科目/Related course	
リンク先URL /URL of syllabus or other information	
備考/Notes	